

「 シューティング OTEDAMA ! 」

ロボットにボールをセットし、カゴに多く投げ入れ、得点の多い方が勝ちとなる競技

1. 試合について

※今回、高校生の競技ではロボットを1台のみ出場させることができます。

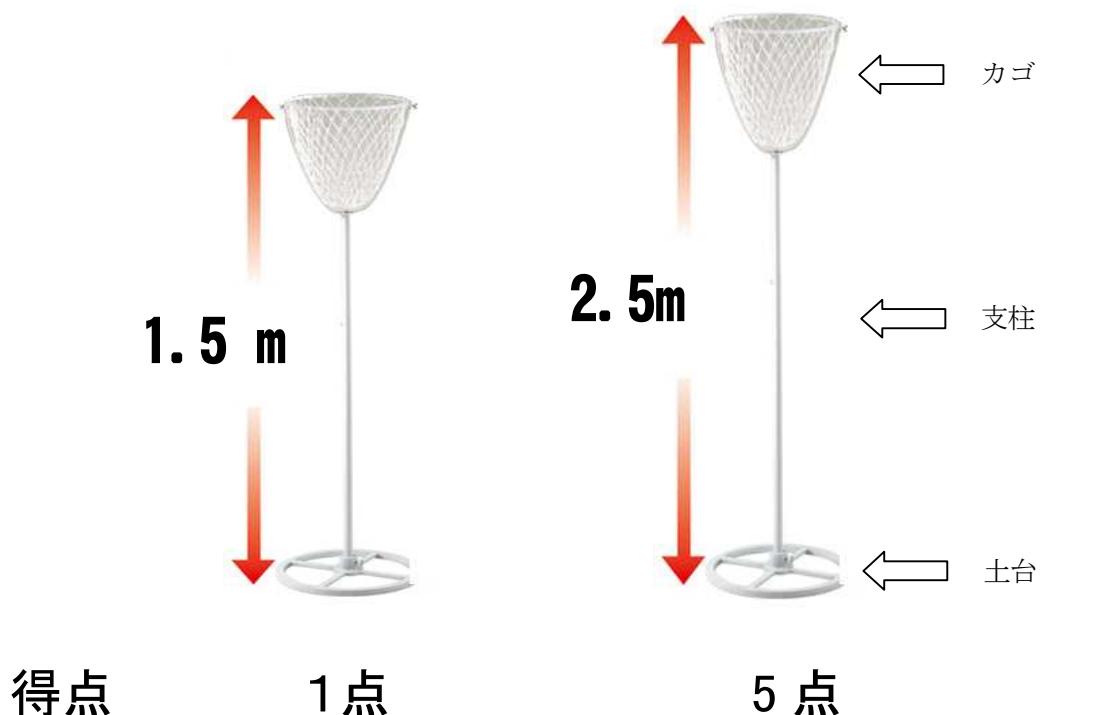
- ①各コートの準備(各チームロボットをロボットセットエリアにセットする)が完了し、開始のブザーが鳴れば試合がスタートします。
- ②操縦者と副操縦者はロボットにボールをセットします。(使用ボールは最大20個)
- ③ロボットをロボットセットエリアから出発させ、ボールシュートエリアからボールを投げ、ゴールに入れます。
- ④終了時点で得点が高いほうが勝ちとなります。

2. 競技時間

- ①競技時間は2分間です。
- ②競技中に何らかのトラブルで試合が中断されたとしても、通常は時計を止めずに競技を続行し、時間延長等は行いません。ただし、審判の判断で時計を止めたり、競技を最初からやり直したりする場合もあります。

3. コートについて(図を参考にしてください)

- ①操縦エリアに入ることができるのは1チーム2名までです。
- ②土台の大きさは直径 500mm、カゴ上面までの高さ約 2500mm と高さ約 1500mm で、床に固定されていません。カゴの大きさは直径 400mm、深さ 430mm です。



4. スタート

- ①ロボットをスタートエリアにセットし、コートの準備が整った時点でスタートします。
- ②スタートするまでコントローラーは床の上に置いておかなければいけません。
- ③スタート時のロボットは、ロボットセットエリア内からスタートできます。ただし、規定寸法内に収まっていなければなりません。
- ④競技者はスタートの条件をクリアするまでスタートすることはできません。
- ⑤スタートの合図を聞いてから、競技者はボールエリアからボールを取り、ロボットへ積むことができます。
ただし、ロボットへ積むことができるロボットはロボットセットエリアにロボットが入っているときのみとします。

5. リトライについて

- ①競技中ロボットが転倒または不調、コートから脱輪、及びコードが絡んで動けなくなつた等の場合、「リトライ」と宣言すればロボットを回収し復帰させることができます。競技は中断されません。再スタートはスタート位置から行わなければなりませんが、このときロボットの一部がスタートエリア内にあれば良く、リトライ時ロボットにあったボールについては回収してもしなくてもかまいません。
ただし、ロボットの修理等のため触れたボールについてはフィールドに戻さなくてはいけません。
- ②競技の中止またはリトライなどで、ロボットを回収するためでも、相手の動作を妨害してはいけません。また、各ロボットは最初のスタート位置にもどさなければなりません。修理・調整が必要な場合はコートの外で作業を行ってください。

6. 勝敗

- ①すべてのボールを2.5mのゴールに入れることができれば、競技の途中でもその時点で勝ちとなります。
- ②1球あたりの得点は2.5mゴールは5点、1.5mゴールは1点とし、試合終了時に得点の高い方が勝ちとなります。
- ③同点の場合は、2.5mゴールに入っているボールの数が多い方が勝ちとなります。
- ④同点でコート上のボールの数も同じ場合は、ジャンケンで勝者を決定します。

7. 反則

- 次の場合は反則とし、審判が競技者に伝えます。
- ・ロボットを使わず、他の方法でボール等を動かした場合。
 - ・競技者がロボットやボールに触れたり、制御用のコードを引っ張ってロボットを動かしたりした場合。
 - ・ロボットが故意にゴール(土台や支柱を含む)に触れた場合。
 - ・ロボットが故意に進入禁止エリア(上空を含む)に進入した場合。
 - ・ロボットが相手のロボットの動作を妨害した場合。
 - ・その他、この規則書で禁止されている行為を行った場合。

8. 失格

- 次の場合は失格となります。
- ・1試合中に2回反則を行った場合。
 - ・反則を行ったときに審判の警告に従わず、その反則行為を続けた場合。
 - ・その他、審判が重大な違反行為と判断した場合。

9. ロボット

- ①ロボットは必ず1台、マイコンを使用しなければなりません。
- ②ロボットのサイズはコントローラー及び接続ケーブルを除き、試合中 1m × 1m × 高さ 2m の枠に収まっていなければなりません。重量については特に制限はありません。
- ③スタート後、ロボットは自由に展開することが可能ですが、ただし、大きさは②のサイズを超えてはいけません。

- ④各ロボットの動力用、制御用に使用する電源については特に規定はありません。
- ⑤補助的にゴム・ばね等の使用は認められます。
- ⑥ボールの保持については粘着材を使ったり著しく傷つけたりするような方法は禁止です。
- ⑦コートなどの資材を汚す、又は傷つけるような構造は禁止です。
- ⑧事前にロボットを何らかの方法で、無線でコントロールする場合は、参加申し込み時にそのことについて具体的に報告してください。

